

実、種、苗、育つ

園長 小島 澄人

不思議で不思議で、本当に不思議なことがあります。当たり前のこと、としてはいられない。どんな実も種も苗も見事に育ちます。先週、幼稚園を見学に来たお客さんを案内して、知らないうちに大きくなった木々にびっくりしました。裏山に広がるたくさんの果樹、みんな小さな苗を植えました。それは、私が幼い時に、山に行けば木の実、畑に行けば野菜、海に行けば魚、なんでもとれた思い出があり、それを幼稚園でも子どもたちに体験してほしいと、種や苗を植えて育てました。また、夢の森を案内して、またびっくりしました。ちいさな「モミジの山」が、すくすく育ってモミジが堂々と大きくなっています。荒れ果てた山を、大きな竹を何万本も切り倒して作り上げた夢の森幼稚園でした。あのモミジは、柿の実のモミジからひらひらと飛んできた、ちいさな小さな「モミジの種」を植木鉢に蒔いて育てた苗を一本一本ずつ植えました。20年余りたったの、大きなモミジにびっくりでした。

ジャガイモも不思議です。種芋を土の中に埋め、いつの間にか土の中では大きなジャガイモが次々に出てきます。子どもたちは大喜び、自然の力と言ってしまうと終わりますが、美味しいジャガイモ、本当にありがたいです。土の中には親のジャガイモの「種芋」の頑張りがあってのことです。1万2000株のジャガイモでした。感謝。

今は、サツマイモの苗植えが終わりました。ジャガイモは種芋を植え、サツマイモは苗を植えます。これも不思議です。どちらも美味しいです。1万2000本、サツマイモも植えました。びっくりするのは苗が高くなったことです。1本、なんと38円です。40年程前には、裏山で「サツマイモの苗」を育てましたが、祖父がいなくなり買うことにしましたが、大変です。大根もそうですが、あんな小さな種が大きな大きな大根に変身です。本当に不思議です。

子どもたちは保育の合間に「幼稚園のピザ窯」でピザ、幼稚園で採れた野菜を使って美味しいピザができました。トマト、ナス、ピーマン、キュウリをたくさん収穫して作りました。園長にはクラスから届きますが、美味しいのでついつい食べてしまいます。おなかいっぱいです。

田んぼには稲の苗を植えています。幼稚園の畑に種を蒔き、苗を育てました。冬にやる「お餅つき」のもち米です。まだまだ、苗は残っています。欲しい方は取りに来てください。早いうちに。幼稚園で、長年続けている「どろんこプール」は田んぼの土づくりも兼ねています。保育園でも、どろんこプール、稲をもっていった「米を育てる」のに挑戦している園もあります。

採れたもので残ったものは門で保護者に、地域の方にお分けしていますが、今年度はジャガイモがたくさんです。悩んでいることが、池前の水溜まりです。雨が降ると結構水が溜まります。園ではいろんなことで使っている「土の場所」です。毎回、土をまいて埋めますが、子どもたちの格好の遊び場です。「ジャブジャブ」したりと、水遊びの場として最高です。

園庭の人工芝を変えます。今ある芝、土、どこかで使います。